

単元	指導内容	評価規準
ガイダンス 「遠近法」 透視図法 「ジャポニズム と印象派」 「点描制作」 光と影	年間の説明 ① 好きな文字を書き、透視図法を用いて奥行きを表現する。 ② 立体に見えるように明度を考えた色で彩色する。 ③ 作品の鑑賞、振り返りをする。 ① 点描作品を鑑賞し、理解を深める ② 点描に相応しいモチーフを選び、情景を考えながらデザインする ③ 光と影を意識しながら点で表現する。 ④ 鑑賞・振り返り	(態度) 説明を聞き、授業を聞く姿勢がとれている。 (態度) 空間のデザインに関心を持ち積極的に制作しようとしている。 (思・表) 遠近法を理解し、デザインを工夫して考えることができる。 (知・技) 直線は定規を使って整える。ムラなく色面を塗り、美しく仕上げることができる。 (態度) 自他の作品の良さを感じ取ろうとしている。 (態度) 積極的に制作している。準備片づけが適切にできる。 (思・表) 点描に相応しい情感あるモチーフを選び、バランスよく構成できる。 (知・技) 均一な点で美しい作品に仕上がっている。光の方向を考え陰影を表現できる。 (態度) 自他の作品の良さを感じとろうとしている。
「折りの形」 「伝統文様」 ゴム版画 「木彫ペン立て」 デザイン スクラッチボード	① 教科書や参考資料を紹介しながら、身近な公園などに設置してある彫像作品について考える。 ① 伝統文様について知り、連続文様を中心に学ぶ。 ② 自分らしい文様を考え、パターンになることを想定した版画のデザインにする。 ③ ゴム版に彫刻刀で模様を彫り、紙に版を刷り完成させる。 ④ 振り返り。作品鑑賞。 ① スクラッチ面と木材面でできたペン立てのデザインを素材の違いを意識して考える ② ハッチングとニードルの知識を学び、スクラッチボードを削る ③ 着色し、スクラッチボードを完成させる。	(態度) 身近な作品に興味をもって資料を集めている。 (思・表) 自分なりの作品に対する感想を持てる。 (態度) デザインに関心を持って取り組み、最後まで完成させることができる。 (思・表) 伝統文様の知識を生かし、パターンデザインを考えることができる。 (知・技) 彫刻刀など用具の使い方を理解し、形を工夫して仕上げることができる。 (態度) 自他の作品の良さを感じとろうとしている。 (態度) 素材の違いに関心を持ち、積極的に制作している。準備片付けができる。 (思・表) 素材を生かした自分なりのデザインを考えることができる (知・技) 用具の正しい使い方を理解し形を美しく仕上げることができる。 (態度) 自他の作品の良さを感じとろうとしている。
「ペン立て木彫」 木彫	④ 彫刻刀についての学習し、デザインの通りに木彫を施す。 ⑤ 木彫部分にニス塗り、組み立てて仕上げる	(態度) 素材の違いに関心を持ち、積極的に制作している。準備片付けができる。 (思・表) 素材を生かした自分なりのデザインを考えることができる (知・技) 用具の正しい使い方を理解し形を美しく仕上げることができる。 (態度) 自他の作品の良さを感じとろうとしている。

参考図書

「教科書、2・3年、上・下」

副教材「美術 資料」他